

# たかまつ市議会 レポート REPORT

平成30(2018)年7月15日発行(第187号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shigikai/index.html>

## 高松市立みんなの病院

仏生山町で整備を進めていた高松市立みんなの病院は、いよいよ9月1日に開院予定となりました。市民の皆様には「信頼され、選ばれる病院」を目指します。

(写真 上:外観 左下:エントランス 右下:外来受付)



平成30年  
6月定例会

夏号

### 目次

代表質問 ……2～4

質疑・一般質問ほか ……5～7

情報BOX ……8

### 定例会の日程

- 6月11日 開会、提案説明
- 14日 代表質問
- 15日 代表質問・質疑
- 18・19日 一般質問
- 20日 一般質問、特別・議会運営委員会審査
- 21・22日 常任委員会審査
- 26日 委員長報告・討論・採決、閉会

## 今定例会で決まった主な内容

- 市長提出議案
  - ▽ユニバーサルデザインのまちづくりのさらなる推進を図るため、ユニバーサルデザインマップ等を作成するための予算
  - ▽JR端岡駅周辺整備の基本構想を策定するための予算
  - ▽地域生活課題の解決に向け、相談支援包括化推進員を中心とした相談支援チームによる包括的な支援体制づくりを進めるための予算
  - ▽施設老朽化や児童生徒数の急増に伴い、新設第二学校給食センター(仮称)を整備するための予算
  - ▽流通拠点としての卸売市場の機能強化を図るため、老朽化した青果棟の再整備に係る基本設計等を実施するための予算
- 条例
  - ▽高松市仏生山駅パークアンドライド駐車場を設置する等のための条例改正
  - ▽地方税法等の一部改正に伴い、地域決定型地方税制の特例措置の対象となる設備等に係る固定資産税の課税標準の特例措置を設ける等のための条例改正

平成30年第3回高松市議会定例会は、6月11日から26日までの16日間の日程で開かれました。  
今定例会では、平成30年度一般会計補正予算など12議案を可決するとともに、人事案件1件に同意したほか、議員提出議案3件を否決、陳情1件を不採択としました。また、前定例会で継続審査としていた案件のうち、議員提出議案2件をさらに継続審査とし、陳情1件を採択としました。

# 代表質問

各会派を代表して、4人の議員が質問しました。

## 質問者

## 質問の主な内容



自民党議員会  
藤原正雄  
政治姿勢、行財政、まちづくり、防災、観光振興、農業、文化芸術、福祉



同志会  
川崎政信  
政治姿勢、行財政、まちづくり、観光振興、産業振興、防災、農業、福祉、教育



公明党  
春田敬司  
職員の働き方改革、包括外部監査、まちづくり、若者支援、事前医療、産業振興、生涯学習、市民病院



市民フォーラム21  
大西智  
人口減少、雇用、地域共生社会の実現、観光振興、市民満足度調査、健康福祉、子育て支援、空き家

## 政治姿勢

人口減少対策として、瀬戸・高松広域連携中核都市圏の牽引役を果たす

問 県内自治体との連携を強化し、人口減少対策に取り組み考えは。【議員説】  
人口減少を見据え、持続可能な社会へとソフトランディングさせる対処策は。【同志会】

答 国の動向を注視しつつ、「たかまつ創生総合戦略」に掲げる施策を着実に推進し、都市の魅力を高め、住みやすい・住み続けたいと思われぬまちづくりを進める。あわせて、瀬戸・高松広域連携中核都市圏としての新たな取り組みの創出などにより、連携中核都市として、圏域全体での人口減少の抑制と地方創生に向けての牽引役を果たす。



## 行財政

市民プールのあり方に関する今後の方向性を検討する

問 高松Tゾーンのシフトロントに位置する市民プールのあり方について、今後どのように検討を進めるのか。【議員説】  
市民プールの今後のあり方について、利用者や地域住民への説明責任を全うするためにも、総合的な観点から再検討する考えは。【同志会】



市民プール

答 公共施設再編整備計画(案)では廃止の方向性を

としたものの、施設利用者や近隣の自治会等からの存続の要望書を重く受けとめ、廃止を前提とすることなく、できるだけ早期に施設の再整備、廃止、用途変更など、想定される方向性ごとの必要経費の試算等を行った上で、アンケート調査の実施など、あり方に関する今後の方向性を検討する。

職員の働き方改革実現に向け、AI活用など総合的な業務改善を推進する

問 時間外勤務の縮減等を推進する取り組みを盛り込んだ「スマイルプラン」を補完するため、人工知能(AI)活用など総合的な業務改善を推進する考えは。【公明党】

答 職員の事務負担軽減と住民サービスの向上のため、認可保育所等の入所選考業務にAIを活用する考えは。【市民フォーラム21】

働き方改革の実現には、根本的な業務改善が必要と認識している。また、職員の作業短縮などにつながるため、認可保育所等の入所選考事務へのAI活用について、国の事

業の補助採択状況を踏まえ検討することとしており、今後、他都市の事例を調査研究した上で、さらなるAI等の活用の検討を進めるなど、全庁を挙げて、総合的な業務改善を推進する。

## まちづくり

中部東地域の地域交流拠点にふさわしいエリア形成に取り組み

問 国の地方再生コンパクトシティに、本市提案の新病院を核としたまちづくりが選定されたことを受けた今後の取り組みは。【議員説・同志会】

答 県農業試験場跡地北側エリアにおける地域交流センター等の整備や、地元商店街と連携した空き店舗の利活用、移住・定住を誘因する体験ツアーの実施等、国の支援を最大限活用して、多核連携型コンパクトエコシティの、中部東地域における地域交流拠点にふさわしいエリア形成に取り組む。

## 高松テルサを活用した専門職短期大学設置構想

問 穴吹学園による高松テルサを活用した専門職短期大学設置構想に、開学後も施設のMICE機能の維持が望まれるが、その協議状況と今後の取り組み方針は。【議員説】

答 学校運営に支障のない範囲で、ホールや会議室を市民等に貸し出すことを要件の一つに盛り込むなど、来年4月から貸し付ける方向で協議を進めている。

また、同学園の構想は、地域活性化を担う人材輩出や、若者の県外流出抑制を目的としていることから、行政として、必要かつ、でき得る限りの支援・協力を行っていく。

## 香東川流域での親水公園等の整備を引き続き要望する

問 木太鬼無線西春日・鶴市工区の開通を契機に、御殿浄水場内にある水道資料

## 政治姿勢

人口減少対策として、瀬戸・高松広域連携中核都市圏の牽引役を果たす

問 県内自治体との連携を強化し、人口減少対策に取り組み考えは。【議員説】  
人口減少を見据え、持続可能な社会へとソフトランディングさせる対処策は。【同志会】

答 国の動向を注視しつつ、「たかまつ創生総合戦略」に掲げる施策を着実に推進し、都市の魅力を高め、住みやすい・住み続けたいと思われぬまちづくりを進める。あわせて、瀬戸・高松広域連携中核都市圏としての新たな取り組みの創出などにより、連携中核都市として、圏域全体での人口減少の抑制と地方創生に向けての牽引役を果たす。



## 行財政

市民プールのあり方に関する今後の方向性を検討する

問 高松Tゾーンのシフトロントに位置する市民プールのあり方について、今後どのように検討を進めるのか。【議員説】  
市民プールの今後のあり方について、利用者や地域住民への説明責任を全うするためにも、総合的な観点から再検討する考えは。【同志会】



市民プール

答 公共施設再編整備計画(案)では廃止の方向性を

## 産業振興

高松盆栽の郷 産地ブランドの確立に向けた施策の推進に取り組む

問 「高松盆栽の郷」基本構想において、鬼無・国分寺地区の盆栽産地そのものを地域資源として活用する具体的な方法は。【議員説】

答 本年度、県が本市を含め、観音寺市から東かがわ市へとつながる海岸線をサイクリングコースとした基幹ルートを設定するとともに、各市町からの意見を踏まえた地域ルートも検討することから、これらを活用したサイクリングの取り組みを、さらなる誘客促進につなげていく。

また、職員の作業短縮などにつながるため、認可保育所等の入所選考事務へのAI活用について、国の事

## 産業振興

盆栽園が点在する独特の景観や盆栽に関する文化などの地域資源を有効活用することは、今後の事業展開や観光面でも重要であり、愛好者や観光客に盆栽文化や歴史、魅力を伝えるため、拠点施設の整備とともに、盆栽園を巡る高松盆栽ツーリズム等を計画している。

問 創造都市推進懇談会が提案する事業のように、多様な主体者との連携が数多く生まれ、戦略的で効果的な産業振興を推進する考えは。【公明党】

答 本市事業所の大多数を占める中小企業への支援をさらに推進するため、これまでの取り組みに加え、若い世代の柔軟なアイデアの

## 観光

屋島山上へのアクセス ロープウェイ等を含め有効な方策を研究する

問 5月26日から、屋島山上へのアクセス道路を市道として供用開始し、愛称を「屋島スカイウェイ」に決定しました。

問 拠点施設整備や水族館リニューアルが進められている屋島山上に、さらに多くの観光客を受け入れるための環境整備は。【議員説】



屋島

ゴールデンウィークなどの渋滞対応は。【市民フォーラム21】

答 山上で新たに臨時駐車場75台分を確保したものの、今後も行楽シーズンの混雑が予想されることから、駐車スペース確保に向けた関係者との協議を進めるとともに、公共交通の有効活用やICTを活用した渋滞予測等の情報発信を検討する。また、自動車以外の新たなアクセス手段として、ロープウェイ等を含めた有効な方策を研究する。

サイクリングコースを活用し、さらなる誘客促進につなげていく

## 産業振興

高松盆栽の郷 産地ブランドの確立に向けた施策の推進に取り組む

問 「高松盆栽の郷」基本構想において、鬼無・国分寺地区の盆栽産地そのものを地域資源として活用する具体的な方法は。【議員説】



答 本市事業所の大多数を占める中小企業への支援をさらに推進するため、これまでの取り組みに加え、若い世代の柔軟なアイデアの

活用や、客観的根拠に基づくデータ分析による施策展開の必要性を認識しており、多様な主体の意見も聞きながら、より一層、効果的な産業振興に努める。

学生などの求職者と事業者の雇用のアンマッチの解消に努める

問 若者の早期離職の原因となる、学生等の就業ニーズと企業の雇用ニーズのアンマッチの解消に取り組む考えは。

答 年内の竣工に向け、工事は順調に進捗しており、来年度3月中を目途に供用開始を考えている。

問 昨年度実施した調査では、本市でも全国と同様、就職後の早期退職者が少なくない傾向が見られたことから、この結果を関係機関で情報共有し、今後とも連携を密にし、学生などの求職者と事業者の意識の違いや雇用のアンマッチの解消に努める。



在宅医療と介護が一体的に提供できる体制を構築していく

問 地域包括ケアシステムの構築において、在宅で、みとめることは必須であり、

今後、地域医療を支える在宅医療の推進に向けた取り組みは。

答 医師を対象としたネットワーク構築の研修会開催のほか、本年9月を目途に、看護師等の専門職を配置した在宅医療支援センターを本庁舎内に設置し、相談対応や医療機関から在宅への円滑な移行支援に取り組むなど、医療・介護関係者の連携を強化する中で、在宅医療と介護が一体的に提供できる体制を構築していく。

若者支援協議会

問 困難を抱える若者等への支援は待たなしの現状にあり、課題解決に向けたビジョン提示やロードマップ共有を含め、若者支援協議会の今後の取り組みは。

答 若者支援事業や相談窓口等の情報などを掲載した「若者支援サポートブック」を発行予定であり、若者や家族等への配布に際し実施



生涯学習センター（学びCAN）

問 生涯学習を総合教育会議のテーマとして協議するなど、連携体制を確立していく考えは。

答 生涯学習の効果的な推進のため、全庁的な連携をさらに強化する

から、その効果的な推進に全庁的かつ総合的に取り組むため、施策の企画調整や諸事業の協議を行う推進本部や幹事会での連携をさらに強化していく。

鶴尾校区の教育環境

問 近年、児童生徒数の減少が続く、部活動や学校行事に支障をきたしている鶴尾校区の小中学校のあり方に対する今後の取り組みは。

答 子供たちのよりよい教育環境の整備を速やかに実施するため、小学校は存続、中学校は閉校し、来年度より、周辺中学校から進学先を選択する学校選択制を採用する方針としている。

今後とも、円滑な進学に向け、丁寧な説明を行い、不安解消に努めるとともに、地域から愛される小学校づくりに取り組む。

質疑

今定例会に提出された議案について、2人の議員が質疑しました。

太田安由美 (市民派改革ネット)

特定空き家への行政措置



問 今年3月1日現在の特定空き家に対する行政措置の状況は、助言・指導4件、勧告2件となっているが、その後の動向は。

答 除却の意向を示す方がいるものの、いずれの案件も動きはなく、除却に至っていない。

他 ユニバーサルデザイン、りんくうスポーツ公園

岡田まなみ (日本共産党)

中央卸売市場の整備

問 民間事業者の中央卸売市場開設を可能とする卸売市場法改正案が国で審議されているが、中央卸売市場の公益的・公共的役割を堅持するため、市として整備・維持する考えは。



答 同市場は、本市の食品流通の核として公的で重要な役割を果たしていることから、市として整備・維持していく。

他 共生社会実現、JR端岡駅南口整備、新県立体育館

富野和憲 (市民フォーラム21)

市民と連携した観光振興



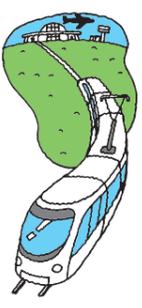
問 市民等と連携して観光資源を発掘するなど、観光振興に取り組む考えは。

健康都市



中村伸一 (公明党)

問 市民の健康づくりへの意識を醸発する具体的な取り組みとして、健康都市を

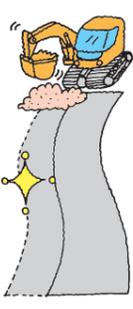


高松Tゾーン南北軸への新交通システム導入は理想的な将来像であり、交通アクセス充実に向けた官民連携による具体的な事業等を協議する高松空港エアライン誘致等協議会に対し、選択肢の一つとして検討するよう提案する。

他 介護保険料、基幹市、財源確保、みんなの病院、塩江琴南線、塩江温泉郷

妻鹿常男 (同志会)

屋島東町地区の道路整備



問 市道明神永之谷線及び高橋線の拡幅整備等の進捗状況及び完了時期は。

答 明神永之谷線の昨年度末の用地取得率は93%で、来年度中の整備完了を目指す

**浸水対策**

**問** 法定外水路の浸水対策に  
取り組む考えは。



**橋本浩之**  
(自民党議員会)



**他** まちづくり、行財政、防災

**答** 乳幼児期から成人に至るまで、一貫した支援が引き継がれるよう、各関係機関の情報共有を積極的に推進しているほか、本年4月に設置した、市内8カ所の基幹相談支援センターにおいて、就学前から就学後までの連続した支援が行えるよう取り組む。

**発達障がい支援**

**問** 保育所等から中学校までの連携した発達障がいの早期発見体制や相談支援体制を充実する考えは。



**大見昌弘**  
(自民党議員会)

**産業振興**

**問** 台東区のアンテナショップの取り組みを参考に、本市の特産品販売促進や観光PRなど、産業振興を行う考えは。



**杉本勝利**  
(自民党議員会)



**答** これまで、関係者からの意見聴取や利用者への説明など、説明責任を果たすことに努めてきた。今後、再編整備実施計画案等について、市議会の意見を聞くとともに、必要な情報提供を行いながら、適切に事務を進めていく。

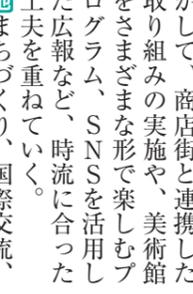
**答** 浸水の発生頻度が高い区域の法定外水路のうち、利水機能を有するものについて、水路の底上げなどの対応が進んでいないため、全庁的に連携・協力し、対策を検討する。また、下水道事業計画区域内の雨水幹線の早期整備が、区域外の浸水被害の軽減につながることから、計画的整備に努めていく。

**高松市美術館**

**問** リニューアルし、開館30周年を迎えることを契機に、市民等から親しまれる高松市美術館を目指す考えは。



**森川輝男**  
(自民党議員会)



**答** 町なかにある特性を生かして、商店街と連携した取り組みの実施や、美術館をさまざまな形で楽しむプログラム、SNSを活用した広報など、時流に合った工夫を重ねていく。

**他** 放課後子ども対策、運動部活動、投票環境、自治会、芸術文化、産学官連携、共生社会、幼児保育

**賛否が分かれた議案等審議結果一覧**

今定例会では審議の結果、議案等のうち6件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合は○を、反対の場合は×を表示しております。

件名	議決結果等	党派別賛否						
		自民党議員会	同志会	公明党	市民フォーラム21	日本共産党	市民派改革ネット	無所属
市長提案	平成30年度高松市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	×	○	○
	高松市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○
議員提案	主要農作物種子法廃止に際し、日本の種子保全の施策を求める意見書	×	×	×	○	○	○	×
	旧優生保護法下における優生手術の被害者に対する謝罪及び補償を求める意見書	×	×	○	○	○	○	×
	カジノを含む統合型リゾート(IR)実施法案の廃案を求める意見書	×	×	×	○	○	○	×
陳情	「広報たかまつ」の未配布世帯の解消を求める陳情	×	×	×	○	○	○	×

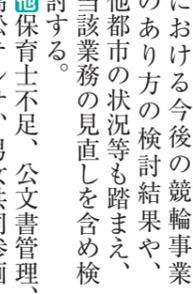
※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

**高松テルサの閉館**

**問** 市民の大切な共有財産である高松テルサの今後のあり方について、市民の合意を得ず閉館・廃止を決定する考えは。



**藤沢やよい**  
(日本共産党)



**答** 競輪事業検討委員会における今後の競輪事業のあり方の検討結果や、他都市の状況等も踏まえ、当該業務の見直しを含め検討する。

**高松競輪場の周辺清掃委託**

**問** 高松競輪場の周辺清掃業務を、周辺自治会に委託し、これまで続けてきたが見直す考えは。



**植田真紀**  
(市民派改革ネット)

**広報を活用した主権者教育**

**問** 主権者教育として、広報たかまつを小中学校等の学校現場で活用する考えは。



**香川洋二**  
(無所属)



**答** 広報たかまつは、市政に対する児童生徒の理解を深められる身近な資料であり、教員の指導に役立つ情報も掲載されているため、

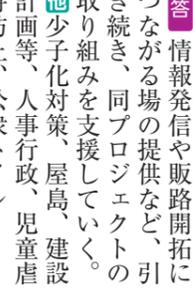
**答** これまで、関係者からの意見聴取や利用者への説明など、説明責任を果たすことに努めてきた。今後、再編整備実施計画案等について、市議会の意見を聞くとともに、必要な情報提供を行いながら、適切に事務を進めていく。

**石材産地ブランド**

**問** 石材産地としてのブランドを広めるため、庵治石の商品開発等に取り組み「AJI PROJECT」に対し、どのような支援を行うっていくのか。



**神内茂樹**  
(自民党議員会)



**答** 情報発信や販路開拓につながる場の提供など、引き続き、同プロジェクトの取り組みを支援していく。

**他** 少子化対策、屋島、建設計画等、人事行政、児童虐待防止、公衆トイレ

**一般不妊治療への助成**

**問** 市の自治体では、子育て世代の経済的負担軽減の観点から一般不妊治療への助成を行っているが、本市でも検討する考えは。



**田井久留美**  
(公明党)



**答** 現時点で、スポーツ施設は一定程度充足していることから、運動公園の整備は困難だが、同地区の自然環境を生かしたウォーキングやジョギングなど、気軽にスポーツに取り組み、健康寿命の延伸につながるソフト事業の推進に努める。

**他** 農業、交通安全

**ヤングケアラーの実態調査**

**問** 小中学校に通学しながら家族介護をしている、いわゆるヤングケアラーと呼ばれる児童生徒の実態調査を行う考えは。



**太田安由美**  
(市民派改革ネット)



**答** 保護者等のプライバシーにかかわる内容のため、一律に調査を行う考えはないが、指導主事による各学校の教育相談担当教員との面談の際に、その視点も含めて聞き取り、実態把握に努める。

**他** 広報たかまつ・選挙公報の全戸配布、行政文書の西暦表記、エネルギー・環境

## 委員会の活動など

### ●所管事務調査

常任委員会が所管する事務の中でテーマを設け、議会の閉会中も継続して調査します。今定例会で決まった各委員会のテーマは、次のとおりです。

総務	移住・定住の促進について	
教育民生	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築について	
経済環境	食品ロス削減に向けた取り組みについて	
建設消防	緑豊かなまちづくりの推進について	

### ●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

総務	6月21日	高松市公共施設再編整備計画(案)3次について
教育民生	5月8日	高松市ICT教育推進計画(案)について

### ●議会運営委員会

6月6日に、議会運営の改善等について協議しました。

## 人事案件

次のとおり任命に同意しました。

### ●教育委員会委員

富家 佐也加 氏

## 永年在職議員表彰

### ●全国市議会議長会表彰

・在職35年以上

大浦 澄子

・在職15年以上

中村 順一 岡下 勝彦

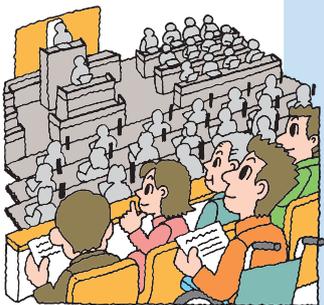
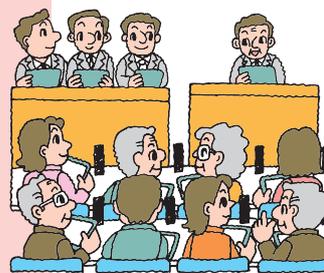
森川 輝男

## 市民に開かれた議会を目指して

### ●ペーパーレス会議システムの導入について

高松市議会では、平成30年6月定例会から、タブレット端末を活用したペーパーレス会議システムの運用を開始しました。議会関係資料等の電子化により、紙使用量の節減や職員による資料印刷等の事務処理作業の軽減を目指します。

なお、今年度は試行期間として、紙資料も併用します。



### ●本会議の傍聴手続の変更について

高松市議会では、市民の皆様により気軽に本会議を傍聴していただけるよう、平成30年6月定例会より、傍聴席に入場する際の住所・氏名を書く手続を廃止しました。

傍聴席は63席(車いす使用者3席分を含みます)で、入場は先着順です。受付は、市役所6階東詰め傍聴席入口で行っておりますので、ぜひ傍聴にお越しください。